

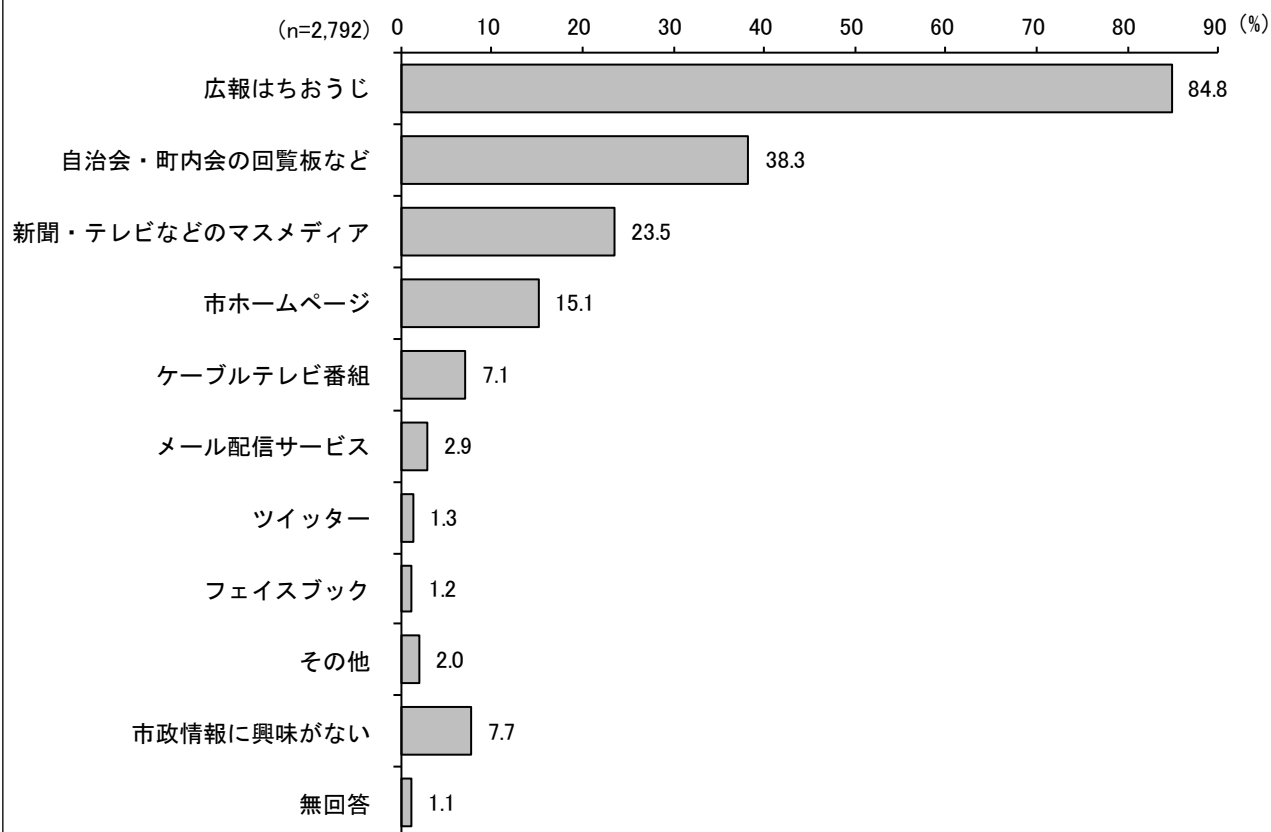
2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

(1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割台半ば

問5 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。
（〇はいくつでも）

図2-1-1 市政情報の入手方法－全体



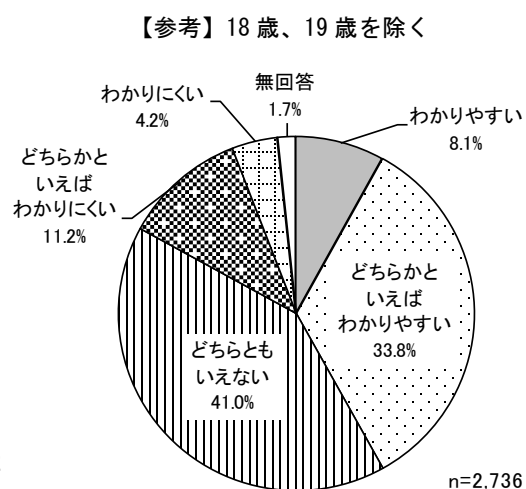
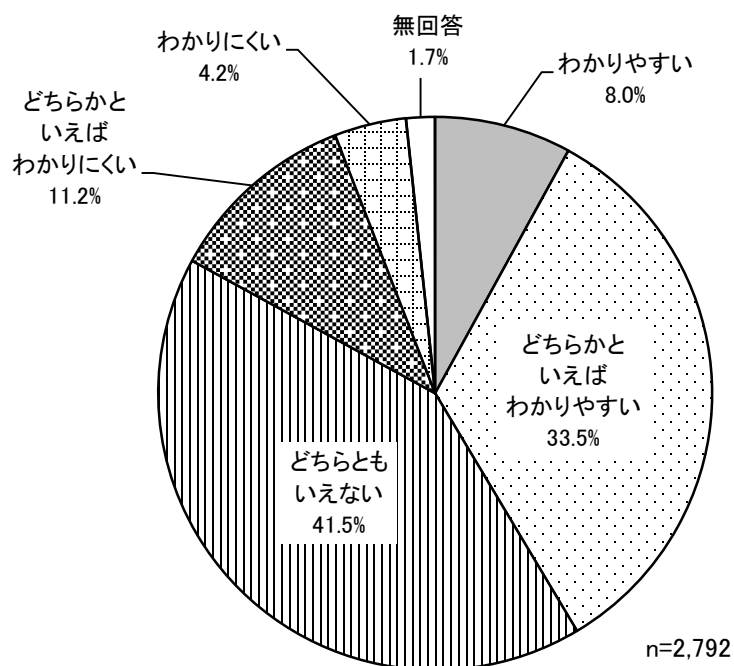
市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」（84.8%）が最も多く8割台半ばとなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」（38.3%）、「新聞・テレビなどのマスメディア」（23.5%）などの順となっている。（図2-1-1）

(2) 市政情報のわかりやすさ

◇《わかりやすい》が4割強

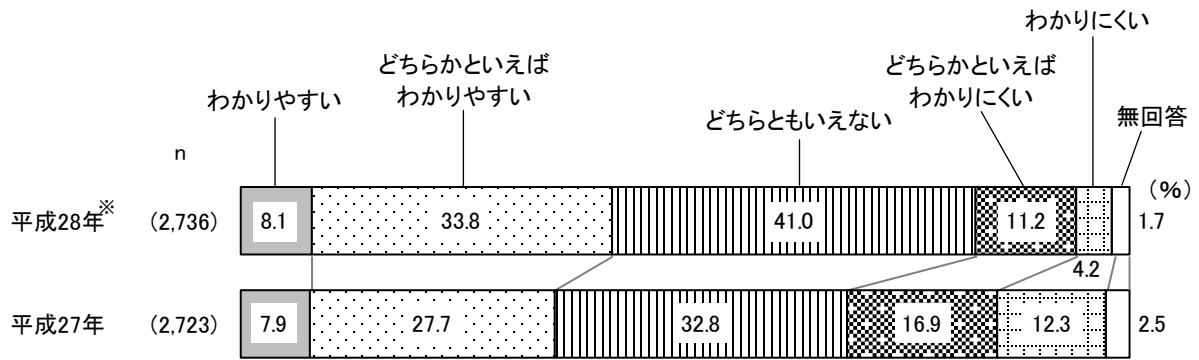
問6 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

図2-2-1 市政情報のわかりやすさー全体



市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(8.0%)と「どちらかといえばわかりやすい」(33.5%)を合わせた《わかりやすい》(41.5%)は4割強となっている。「どちらともいえない」(41.5%)は4割強で、「どちらかといえばわかりにくい」(11.2%)と「わかりにくい」(4.2%)を合わせた《わかりにくい》(15.4%)は1割台半ばとなっている。(図2-2-1)

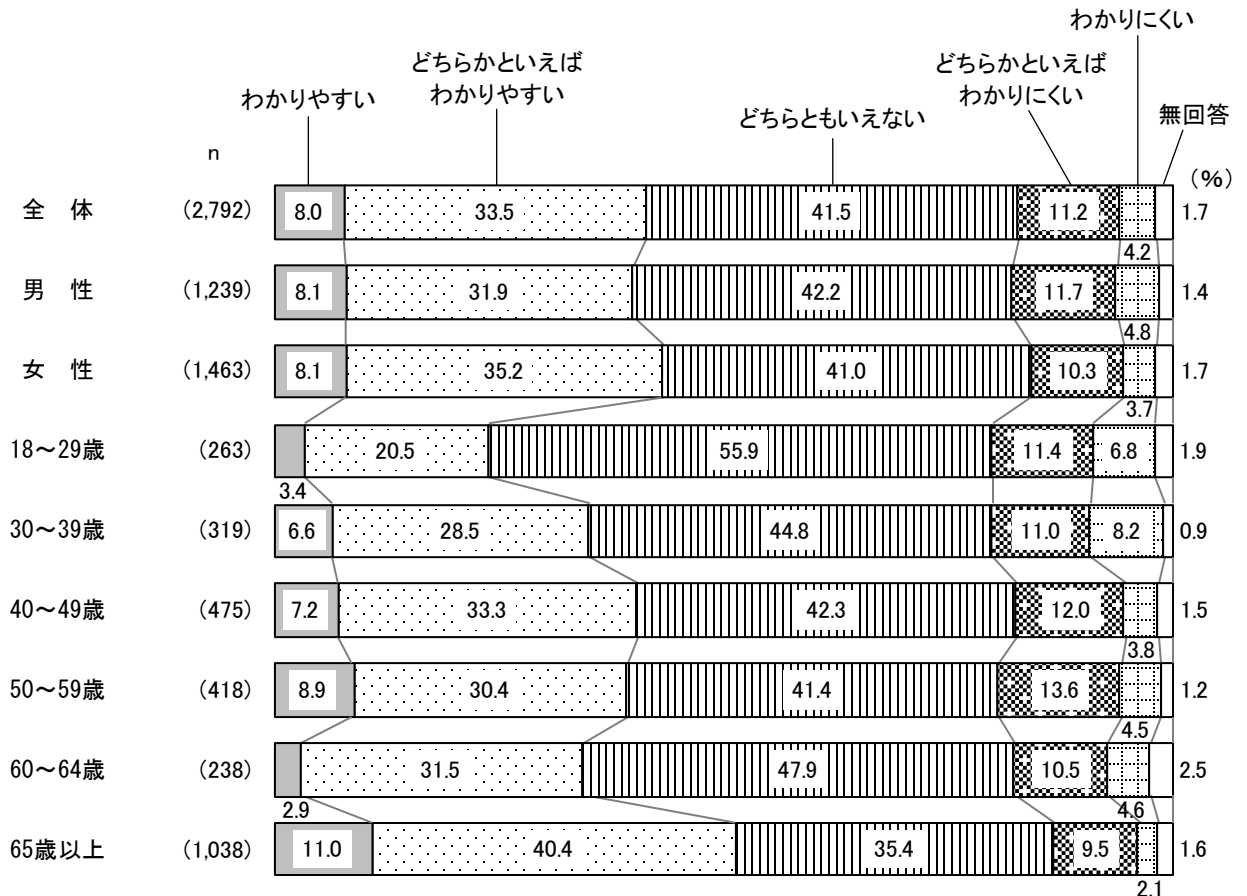
図 2-2-2 市政情報のわかりやすさ－経年比較



※経年比較をするにあたり、平成28年は18歳及び19歳を除いた数とした。

前回調査と比較すると、《わかりやすい》は、平成27年（35.6%）より6.3ポイント増加しており、《わかりにくい》は、平成27年（29.2%）より13.8ポイント減少している。（図 2-2-2）

図 2-2-3 市政情報のわかりやすさ－性別、年齢別

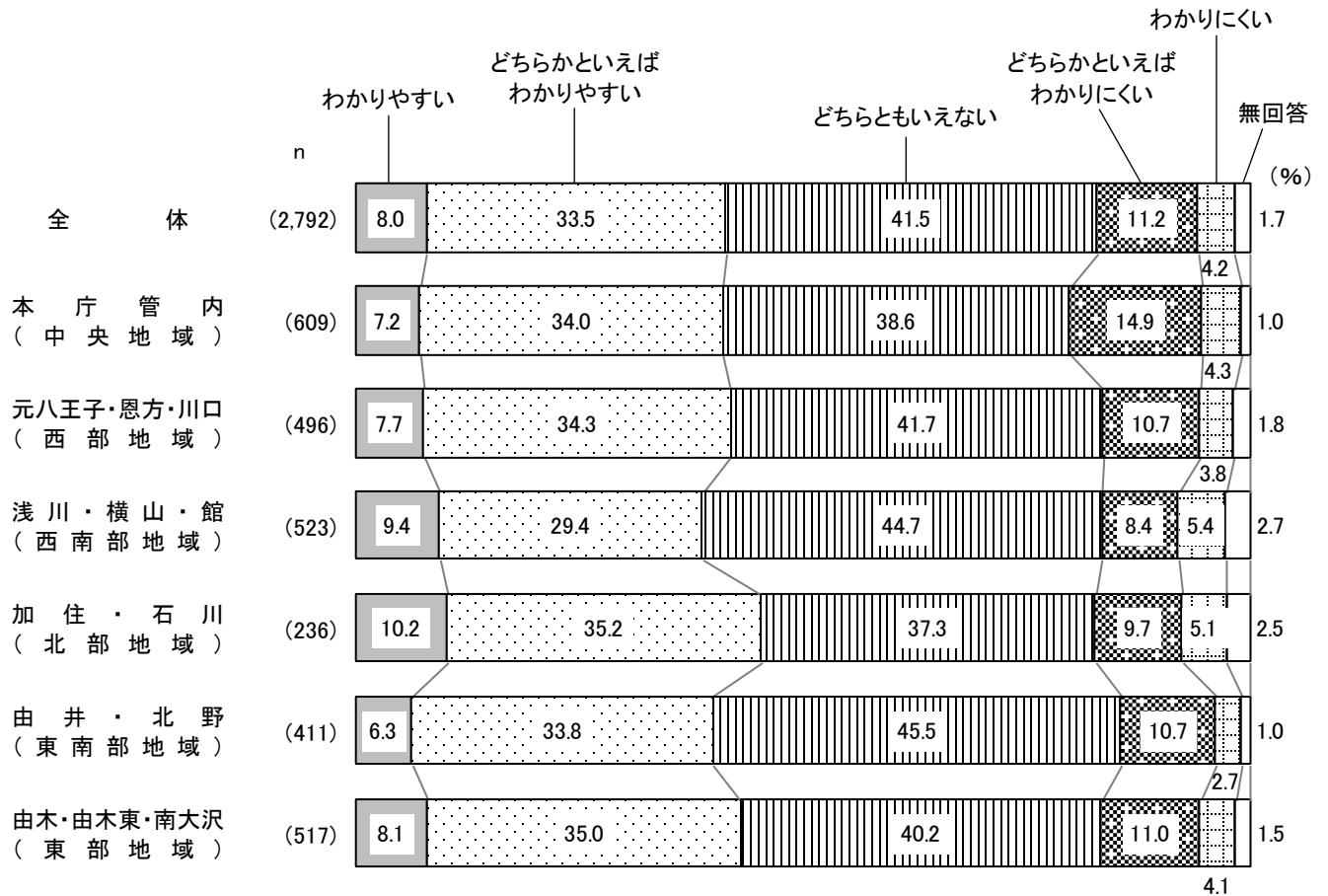


性別にみると、《わかりやすい》は女性（43.3%）が男性（40.0%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《わかりやすい》は65歳以上（51.4%）で5割強と多くなっている。

（図 2-2-3）

図 2-2-4 市政情報のわかりやすさ－居住地域別



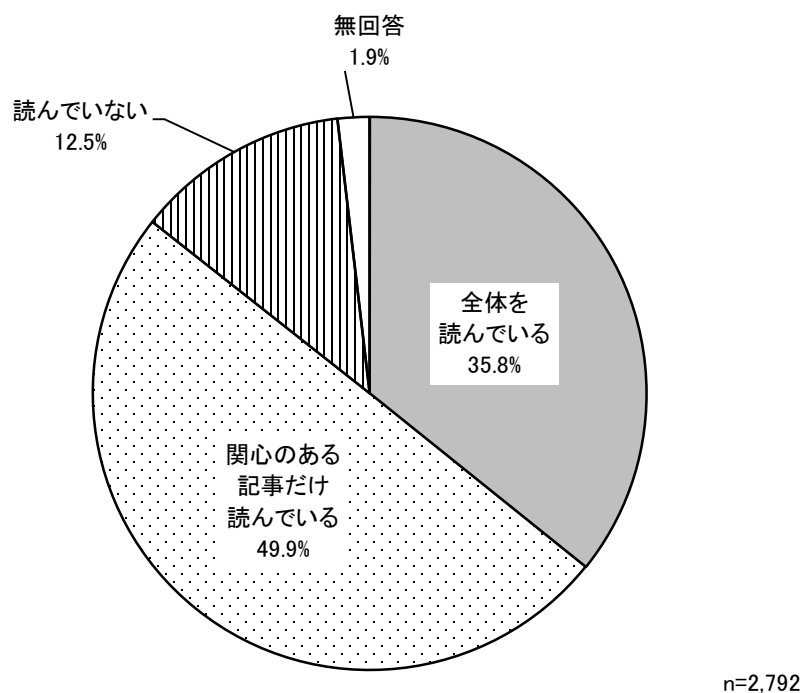
居住地域別にみると、《わかりやすい》は加住・石川（北部地域）（45.4%）で4割台半ばと多くなっている。（図 2-2-4）

(3)「広報はちおうじ」の利用状況

◇《読んでいる》が8割台半ば

問7 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。(○は1つだけ)

図2-3-1 「広報はちおうじ」の利用状況－全体



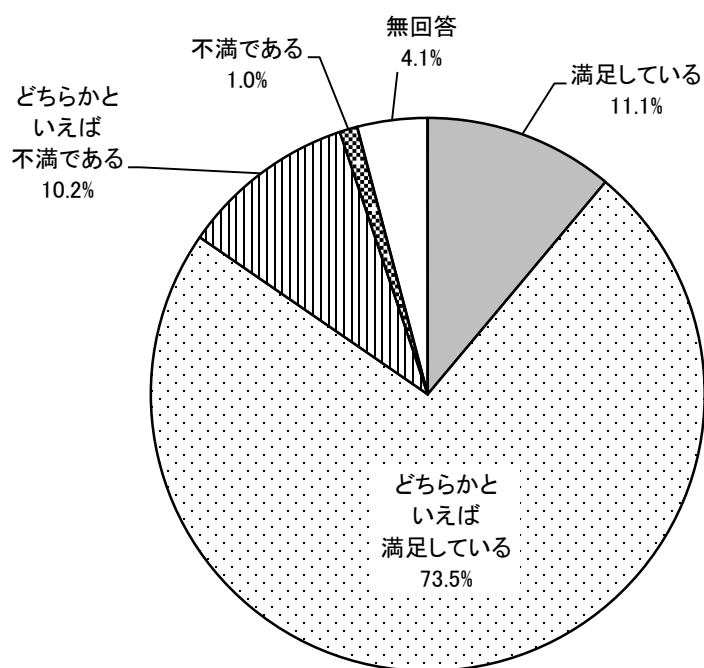
「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(35.8%)と「関心のある記事だけ読んでいる」(49.9%)を合わせた《読んでいる》(85.7%)は8割台半ばとなっている。(図2-3-1)

(4)「広報はちおうじ」の満足度

◇《満足している》が8割台半ば

(問7で「1 全体を読んでいる」または「2 関心のある記事だけ読んでいる」とお答えの方に)
問7-1 「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。(○は1つだけ)

図2-4-1 「広報はちおうじ」の満足度—全体



n=2,391

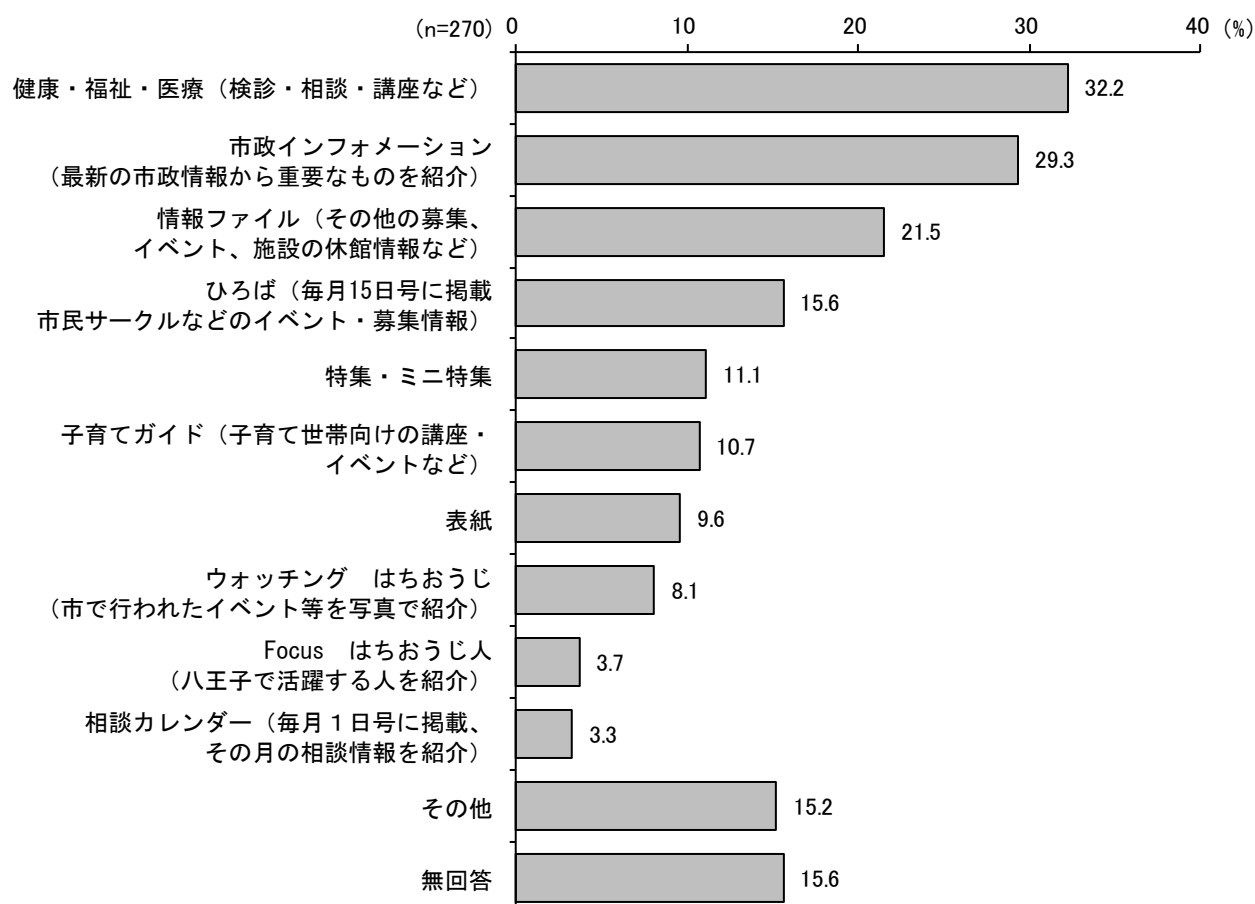
「広報はちおうじ」を「全体を読んでいる」または「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した2,391人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(11.1%)と「どちらかといえば満足している」(73.5%)を合わせた《満足している》(84.6%)は8割台半ばとなっている。「どちらかといえば不満である」(10.2%)と「不満である」(1.0%)を合わせた《不満である》(11.2%)は1割強となっている。(図2-4-1)

(5)「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

◇「健康・福祉・医療（検診・相談・講座など）」が3割強

(問7-1で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」とお答えの方に)
問7-2 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。(〇は3つまで)

図2-5-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー全体



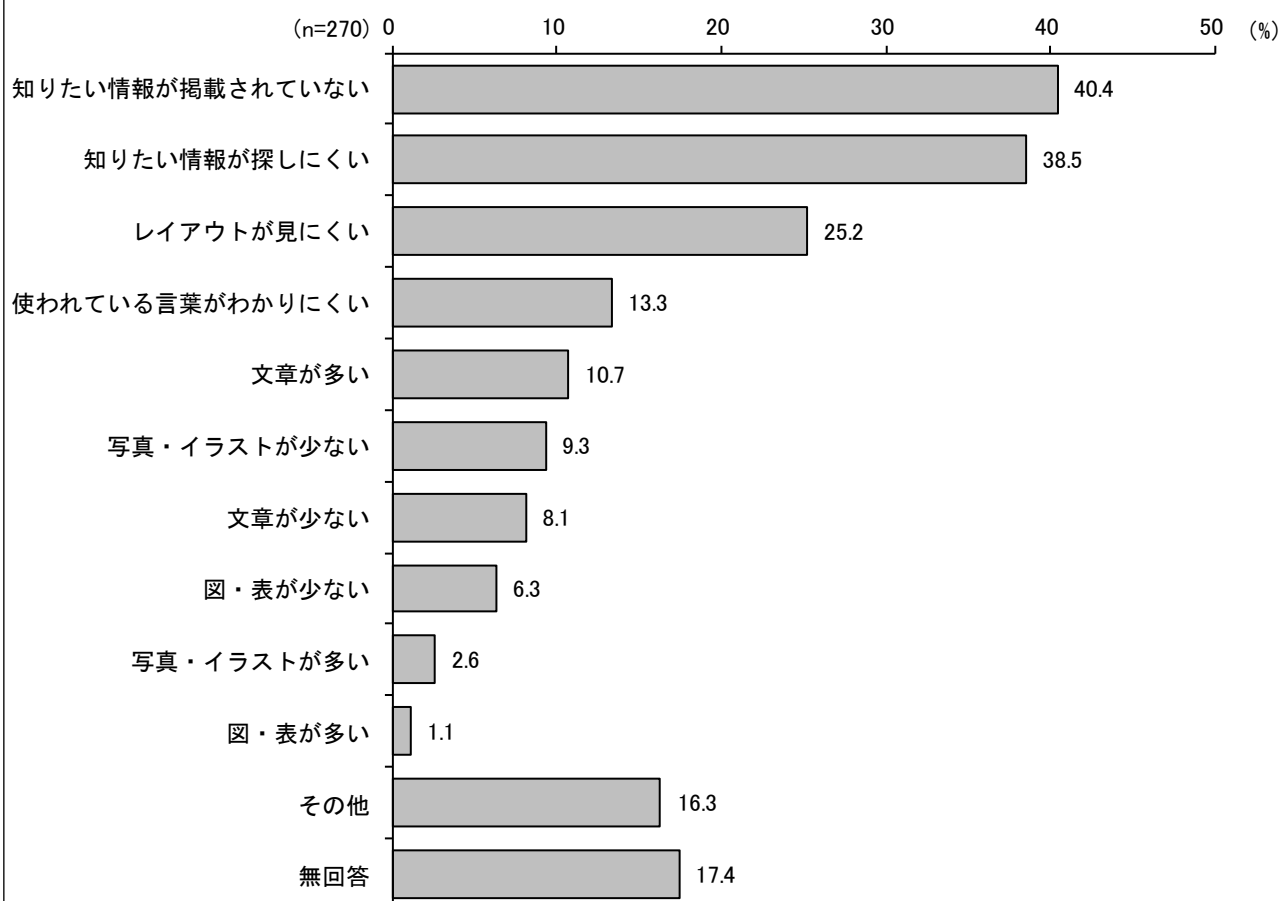
「広報はちおうじ」を読んだ感想を「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した270人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「健康・福祉・医療（検診・相談・講座など）」（32.2%）が最も多く3割強となっている。次いで「市政インフォメーション（最新の市政情報から重要なものを紹介）」（29.3%）、「情報ファイル（その他の募集、イベント、施設の休館情報など）」（21.5%）などの順となっている。（図2-5-1）

(6)「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

◇「知りたい情報が掲載されていない」が約4割

(問7-1で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」とお答えの方に)
問7-3 不満であると感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

図2-6-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—全体



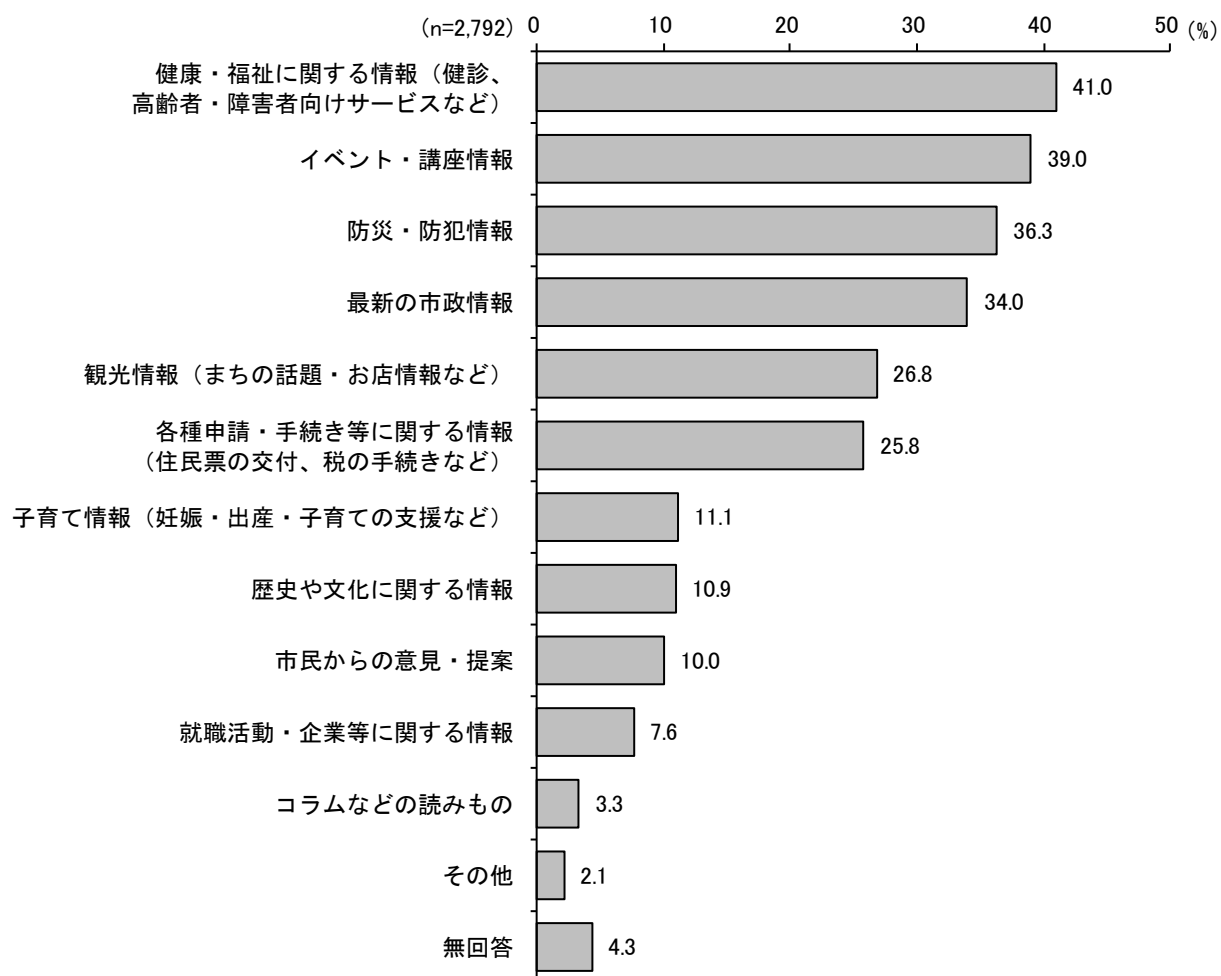
「広報はちおうじ」を読んだ感想を「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した270人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(40.4%)が最も多く約4割となっている。次いで「知りたい情報が探しにくい」(38.5%)、「レイアウトが見にくい」(25.2%)などの順となっている。(図2-6-1)

(7)「広報はちおうじ」で関心のある情報や載せてほしい情報

◇「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」が4割強

問8 「広報はちおうじ」において、あなたが関心のある情報、または載せてほしい情報を教えてください。（○は3つまで）

図2-7-1 「広報はちおうじ」で関心のある情報や載せてほしい情報－全体



「広報はちおうじ」において、関心のある情報、または載せてほしい情報を聞いたところ、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」（41.0%）が最も多く4割強となっている。次いで「イベント・講座情報」（39.0%）、「防災・防犯情報」（36.3%）、「最新の市政情報」（34.0%）などの順となっている。（図2-7-1）

（８）「広報はちおうじ」に関する意見（自由意見）

問９ 「広報はちおうじ」について、ご意見がありましたらお書きください。（自由記述）

「広報はちおうじ」に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、252人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。

なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

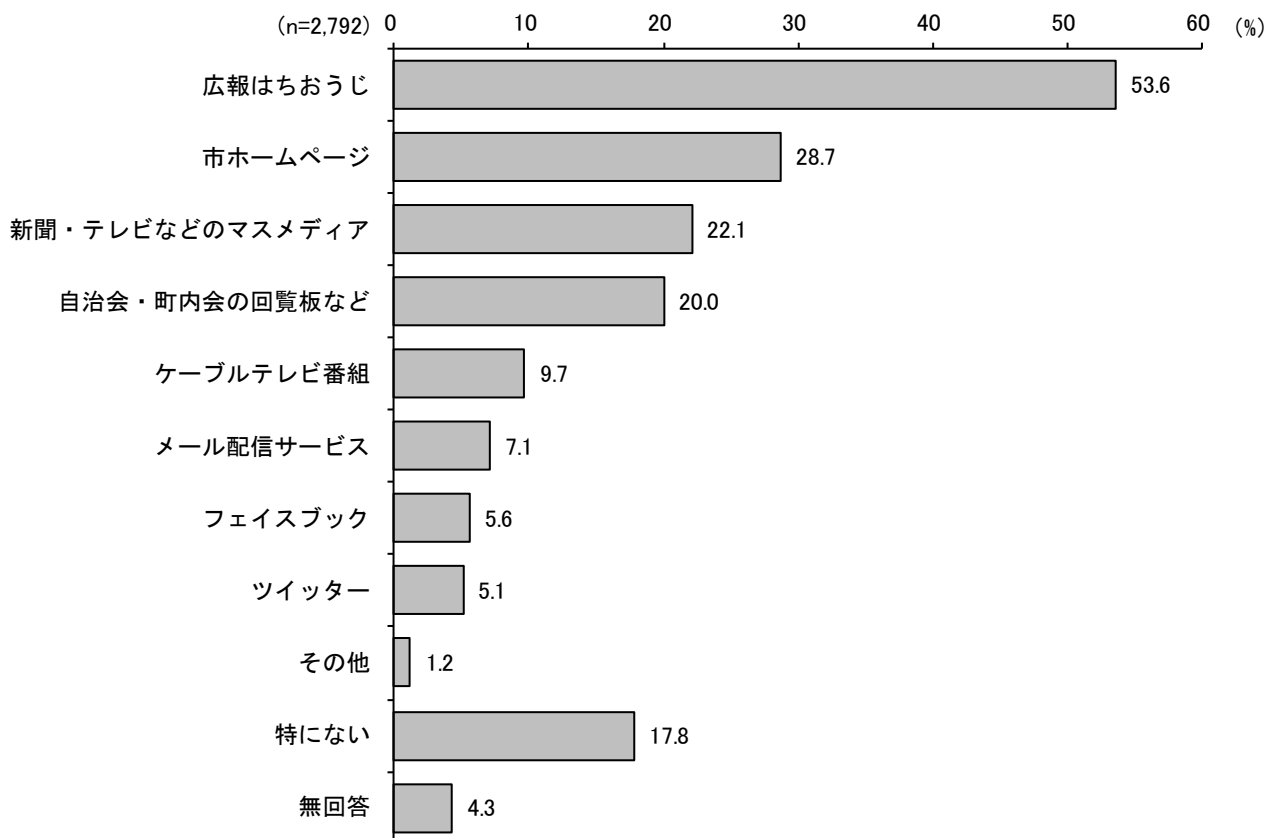
- もう少し若者にも興味関心のあるものを載せてほしい。（男性18～29歳）
- 「学生のまち」と言われる八王子なので、もう少し学生向けの内容を増やしてほしい。
（女性18～29歳）
- 文化意識を高める情報を多く載せてほしい。文化の発展は地方の発展につながり、一人ひとりの文化への意識が高まれば、立派な市民が増えると思う。（男性30～39歳）
- イベントの情報をなるべく早い時期に載せてほしい。どんな雰囲気イベントなのか前回の様子を写真などで載せてほしい。駐車場がどこか詳しく載せてほしい。（女性30～39歳）
- 日常生活のすきま時間で読むため、話題をもう少ししぼり、項目をもっと大きくし、全体的に文字を大きくして、読みやすくしてもらえると、手にとってすぐ読もうという気になる。また、表紙や見開き1ページ目に全体の内容（目次）がすぐわかるよう掲載してくれると助かる。
（女性30～39歳）
- 子育て情報や高齢者への情報ばかりでなく中高年向けの情報も載せてほしい。（女性40～49歳）
- 子どもが手に取って読みたくなる内容、情報があると良い。（女性40～49歳）
- 活字が少し小さくて読みづらいので活字を大きくしてほしい。（女性40～49歳）
- 以前、広報に掲載されていた料理レシピが楽しかった。毎回でなくても八王子産の野菜を使ったレシピを載せてほしい。（女性50～59歳）
- 若い世代の人が広報を読んでいない。関心がないように感じられる。もっと身近な場所、飲食店などに置いてみてはどうか。（女性50～59歳）
- 携帯アプリなどで見ることであれば、よく見ると思う。（男性50～59歳）
- メール配信があるといつでも見られる。（女性50～59歳）
- 時期、時節に合わせたものを載せる。例えば、熊本地震での避難先での体験や家庭でできる水災対策、熱中症の対策など。（男性50～59歳）
- 八王子は広いので各地域の紹介を繰り返し進めてもらいたい。（男性60～64歳）
- イベントの日付、定員、費用、電話などの数字のたて書きは読みにくい。救急診療、休日診療などは横書きにしてほしい。全体的に高齢者に関する記事が多い。（女性60～64歳）
- コラムでよいので八王子の歴史、文化について毎回掲載したらよい。八王子への親しみが強くなると思う。（男性65歳以上）
- 八王子織物（特産）など八王子を他市、他県にPRできる情報を掲載し、「八王子」に行ってみたいなどと言われるものを市民に再確認させ、集客の一助とし、ひいては「住んでみたい」と言われるようもっとPRすべき。（男性65歳以上）
- 月に2回発行されているが財政が厳しいと思われるので、今後発行は月に1回で内容を充実させた方がよいと思う。（男性65歳以上）

（９）市が情報を発信する上で、充実すべき手法

◇「広報はちおうじ」が５割強

問10 今後、市が情報を発信する上で、もっと充実した方が良いと思うものはなんですか。
（○はいくつでも）

図２－９－１ 市が情報を発信する上で、充実すべき手法－全体



市が情報を発信する上で、もっと充実した方が良いと思う手法を聞いたところ、「広報はちおうじ」（53.6%）が最も多く５割強となっている。次いで「市ホームページ」（28.7%）、「新聞・テレビなどのマスメディア」（22.1%）、「自治会・町内会の回覧板など」（20.0%）などの順となっている。（図２－９－１）

(10) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問11 市からの情報発信について、ご意見がありましたらお書きください。（自由記述）

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、194人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。

なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがある。

- 子育て世代に向けた情報（生活、仕事、医療）などをもっとわかりやすく公開してほしい。
(女性18～29歳)
- 電話での問い合わせをしなくてすむように、ホームページに詳細な情報を掲載してほしい。
(女性18～29歳)
- 市のホームページをもう少し見やすくしてほしい。(男性18～29歳)
- 市政情報を気軽に見られるようなホームページのQRコードなどを駅やバス停や公共施設などに貼っておけば、時間の空いている時に見るかもしれない。(女性30～39歳)
- ゆるキャラ、高尾山、食べもの名産品など八王子の個性（特性）を全国にアピールしてほしい。
(女性40～49歳)
- 各戸配布されている広報はちおうじを充実させるのが良い。(女性40～49歳)
- イベントチラシ等の紙面での案内があると良い。インターネットを利用しない高齢層のマンション住まいの方々が、地域参加しやすい案内等があると良い。(女性40～49歳)
- エリアごとに内容を変えてほしい。(男性40～49歳)
- メール配信の活用は、防犯、防災等緊急を要する際に特に必要だと思う。(男性50～59歳)
- 防犯等の広報スピーカーが聞き取りにくい。(男性50～59歳)
- 情報を受け取る側にも問題があると思う。病院の待合室などでケーブルテレビを使って情報発信を行うことなども良いと思う。(女性50～59歳)
- 福祉に関する情報や相談等の発信がほしい。(女性50～59歳)
- 防災関連情報をもっと充実させてほしい。(女性50～59歳)
- 八王子市がメディアやテレビに出るのは良いことだと思う。これからもたくさん情報発信してほしい。(女性50～59歳)
- 観光情報や催事等をテレビ等でもっと取り上げてもらおうと良い。(女性50～59歳)
- たくさんある駅の活用をもっと考えると良い。各駅に市の宣伝のため、目に入りやすい表示をすべき。(男性60～64歳)
- ケーブルテレビをもっと活用すべき。放送時間帯、放送回数等で周知が改善すると思う。
(男性60～64歳)
- 人々が集まりやすいところ（八王子駅前、その他電光掲示板など）に、情報の掲示板を設置する。
(男性65歳以上)
- インターネットが使えない高齢者世帯に、どうやって早く情報を届けられるか考えてほしい。
(女性65歳以上)
- 今住んでいるところに自治会町内会はないが生活の中で不都合はない。広報での情報収集が主だが、ホームページもときどき見ている。ホームページを利用できない方もいると思うので情報発信の方法にひと工夫がほしい。(女性65歳以上)